

## 美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和2年1月13日(月) 13:00~15:00
場 所	野間公民館(細目・一色・若松)
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者: 約97名
内 容	

**事業の経緯・概要説明** 都市整備課長 15分間 資料による

### 町長の経過説明 町長30分間

運動公園は関心が高く大きな問題ということを多くの町民が共有している。

私は、H29.3に詳しく知り、当時の神谷町長に意見した。やるとしても町では大変だから大学の力を借りるよう忠告した。

どんどん進み皆さんが説明を受けたのはH30.11だと思う。町民が理解しないまま進んできたのが過去の経過。

ストップ運動公園の公約を掲げて立候補し支持により町長に就いた。

これまでの経過を理解するため過去の検討資料を確認した。当初は職員にも心配の声が多かった。

止めることができるかが大きな責任であり問題であった。

H5から区画整理の構想があったが組合施行はできなかった。これまで町内の区画整理としては上野間、河和台等で施行された。最近の柿谷では地価が下がり苦勞した。

この地区も区画整理は難しいということで運動公園として用地を取得した。

町営での区画整理をできないことが不勉強で知らなかった。

駅前なら8.3haで民間開発が可能であると聞き、大手メーカーから8億円で土地を買って開発を行う提案があった。

しかし、開発のための土地売却までには運動公園事業中止に伴う交付金や借入金の返還金が生じる上、事業転換するまでの手続きや議会の承認に時間を要する。また、返還金を銀行から借入することはできず、事業を中止することはできない。では、これまで通り進めるしかない。

一つは、町の財政の中でやれるコストダウンはどこまでできるだろうか。競技場の計画は2種に近い3種。やる以上は良いものを造りたい。

これから運営するにはお金がかかる。5年に一度の更新に数千万円必要となる。通常の維持費2,000万円は財政がカバーできればやれる。いかに予算を削減するかを検討するため、幸田町グラウンドゴルフ場も視察もした。

一つは、スペックダウン。競技場の規模をやや下げる。その2つしかない。

もう一つは大学の協力を得ること。話し合いで協力を得たい。町のノウハウでは運営できない。理事長は美浜町と一体となり運営に協力したいと言ってくれた。非常に心強い話を聴き、今一番頼りにしていること。

もう止められないならやるしかない。やる以上には多くの人に来る管理運営をやらざるを得ない。ただし、競技場以外の部分でいかにコストを下げるか。

住民投票は必要ない。議会ともこの事業を進めるに当たってさらに検討しようということによって今日を迎えている。

住民に都市計画税を使って事業を行うことを理解いただきたい。一般財源には影響ない。

皆様の了解を得る説明会。意見を聴きながら、いいものを造ってより町を活性化し地域に貢献できる場所とすること。

12年ぶりに町長になり、やりたかったことがやれていない。皆が住みたくなる町を目指そう。

子供の減少が進んで入る。8つの小中学校の維持が大変なので、小中一貫校を町の中央部にR7までに開校したいと教育委員会と話をしている。

産業（農業・漁業・観光業）はどうか。総合公園西側の奥田平井みかん畑30haが荒れている。みはまっこのハウス農家が55軒から17軒に減少した。もっと作ってほしい要望がある

野間の圃場整備は全国的に早かった。今は、地主の同意があれば国の100%補助で耕地整備ができる。

美浜の良いところがたくさんある。（大坊、ゴルフ場、灯台、小野浦の音吉）

まず、お詫びするのは約束を果たせなかったこと。どこの会場でも辞めろと言われる。辞めるのは簡単。公園だけじゃない。命がけで今言ったことをやる。職員にもやらせる。大学の力も借りる。

皆さんの意見を聴いてできることは取り上げながらやっていきたい。

（補足 総務部長）

運動公園整備事業は、目的税の都市計画税で賄うため他事業には影響がない。

運動公園事業を中止した場合には、これまでの事業実施による国からの交付金及び借入金約6億円を返還する必要がある。返還には町の財政調整基金を充てるが、現時点での残額は5億円で返還額に満たない。返還するためには住民サービスを削らなければならない、町の行政運営のため町長が判断し運動公園継続となった。中止を回避したことにより町財政は安定する。

### 質疑応答（・質問 ⇒町回答）

男性1

・運動公園事業について、H28の説明会の前に議会で決議したのはいつか。

11/13の説明会の目的、位置づけ、今回との違いは。

住民投票廃止の議決はいつか。

⇒H27に素案を作りH28年度予算の議決から始まったので、28年3月。

前回11/13の説明会は、野間学区会からの要請により経緯と状況を部課長で説明したもの。今回は、住民投票を見据えて行う予定であった説明会の日程で継続に至った経過を説明するため開催した。

住民投票条例の制定は11月5日で、廃止議決日は12月10日。

男性2

・町長が当選してから長々と8か月が経過し町の行政が渋滞した。

住みたくなる町を造るといって、神谷町長もあなたも何もやっていない。

農業の補助金も獲得が難しいと思う。

町政が渋滞した責任をどうやって取るのか。仕事をやることでというのは納得できない。どう考えているのか。

⇒神谷町政の4年間は全く政治に関わっていない。選挙で手伝っただけ。

運動公園事業は心配して忠告した。

町政は滞っていない。検討に時間を要した。活かす方法を考えている。美浜の町を良くしていくことが一番大きな責任だと思っている。

・運動公園継続の結論は良いが、止めると言っただけで町長になったから混乱した責任を追及したい。

男性3

- ・町長は、立候補する前に中止した場合の補助金等の返還を知らなかったのか。予算組が甘い。2040年問題がある中で78,000人の集客を確保できるのか。維持管理費はもっとかかると思う。経済効果も怪しい。議会は何をやっていたのか、議会の責任もある。審議が足りない。  
⇒6億の返済について選挙の時は知らなかった。  
78,000人の根拠は、大学高校の利用5万人と町民町外者利用を合わせている。維持管理費は町内他施設の実績を基に算出している。半田市や知多市の実績も参考にしており妥当と考えている。  
経済効果については、利用者を分類し積み上げしている。新たに弁当等も販売されることも期待している。  
合宿2,700人のうち半数が宿泊することを想定している。  
大きく盛ったようには算出していない。
- ・土地買収の価格が実勢価格の何十倍というのはおかしい。  
⇒専門家の不動産鑑定により算出し土地価格調整会議で決定している。

#### 男性4

- ・運動公園を止める民意で町長になったが、継続することに民意はない。民意のない町長が継続しても成功するはずがないので、出直し再選挙をする考えはないのか。これまで野間地区には国費や県費が入った施設が少ない。  
本当に運動公園を起爆剤として予算をたくさん取ってくる気があるのか。  
⇒私が辞表を出せば町長選挙となる。  
国、県の補助金は政治家の立場として取れる限り取ってくる。

#### 男性5

- ・スポーツ公園を造ったら若い人は来てくれるのか。  
⇒今回の構想のとおり若い人が来てくれるようにやりたい。努力する
- ・来るだけではダメで住んでもらわないと意味がない。公園を造っている場合ではない。  
⇒止めることはできない。大学の力も借りて活性化する。小中学校の一貫校を造り住みたくなる町を造る。
- ・全国の自治体で子育て支援策によって若い人に住んでもらうことをやっている。運動公園で住んでくれることはない。  
⇒若者に住んでもらうことが最終目標であり、小中一貫校もそのためのもの。  
全国的に人口減で各自治体が競争している。本町は働く場所も増えていない。  
運動公園は、奥田駅周辺まちづくりの第一段階であり、まずは交流人口による活性化を始めて商店や住宅の必要性につなげていきたい。  
日福大に3,500人の学生がいて1,200人が住んでいる。それを維持したい。消費だけで月に1億円ほどある。また、国からの交付税も人口当たりの根拠となり、学生がいなくなると数千万円から1億円少なくなることが心配される。

#### 男性6

- ・経済効果を説明頂いたが、町がお願いして算出したのか。何かの文献か。  
⇒町から委託したもの。
- ・将来的にそのような結果が出るように期待している。  
⇒事業後も効果を把握していきたい。

#### 男性1

- ・H28.3議会時には、費用、収入等はわかっていたのか。その後に委託して出した数字なのか。議員はそれを承知で賛成したのか。  
運動公園は町から出たのか、日福大に頼まれたのか、町民から出たのか。  
反対が多かったのか、議会に問題があったのではないのか。  
⇒運動公園の素案はH27に作った。これに基づいてH28年度に基本構想を作成し

た。この段階では全体の事業費は出ていない。H29年度に基本計画を検討した。この段階では28億円であったがその後検討して45億円となったため議会に報告し、H30.11の行政報告会で6学区において説明した。

運動公園の発案は町職員と大学職員による検討委員会で色々な意見（宿舎、プール等）の中からまとめたものであり、大学からの要望で決まったものではない。

男性7

・今日は小学生も来ているので、町長から子供たちに向けてメッセージをお願いしたい。

⇒総合公園ではボランティアの方による子供たち向けのランニング指導がされている。大学もスポーツの町にしたいと言っている。町民の中でも、若者が住みたくなる町を造ってほしい。これまでの経過は色々あるが、これをいかにいいものにしていくかをこれから力添えをお願いしたい。職員もそうします。

男性8

・野間は地域のつながりが強い。野間小も少子化と聞くと、R7に小中一貫校は拙速ではないか。

⇒賛否両論あるがR7は最短の計画である。ごみ処理場や火葬場の建設もあり財政的にR7は難しい。しかしR10年を超えると野間中が単学級になってしまうので、それまでには小中一貫校を造りたい。

男性9

・公約で中止を掲げ当選したので立派だ。チャレンジミハマの議員はヒアリングをしっかりとったのか。公約で掲げたのか。

町長の仕事は、開かれた町政にすることでありそれを要望する。

男性10

・事業が始まっているので、町長はテープカットするまで続けてほしい。

4年ごとの選挙のたびに町政が変革することは避けるべき。

1年中断したことにより当初計画より遅れると思うので、施策の継続をお願いしたい。

男性5

・教育長からの小中一貫校を造る話があったが、それで子供が増えると思うのか。大都市の名古屋から人を引っ張ってきて住んでもらうようにすることが大事でないか。箱物を造るべきでない。

⇒校舎が老朽化しており、維持するにも何10億円もお金がかかるので、新しい校舎は必要。

若い人を呼ぶには、教育の充実に関心を持つ保護者への働きかけが大事。

男性11

・山王川の改修による漁業への影響を心配している。

護岸が老朽化しているが大丈夫か。

現地調査で影響について調査しているか。

⇒山王川について、公園区域内については県で改修いただくこととなっている。

下流部（公園から善法寺）については予算がなく難しいとのことだが引き続き要望していく。

運動公園の造成工事については、河川に水質的な影響が出ないように沈砂池を設け随時水質検査を行っている。H29の調査は測量等で水質の影響調査は行っていない。

今後も続く公園整備事業及び県施工の河川改修において水質への影響が出ないように配慮するとともにその都度相談させていただく。